

農山漁村地域整備計画事前評価結果

策定日：平成29年3月15日

計画の概要	計画の名称 第2期しまね隠岐地域農業農村整備活性化プラン			
	計画策定主体 島根県			
	対象市町村 海士町、西ノ島町、知夫村、隠岐の島町			
	計画の期間 平成27年度～平成31年度(5年間)			
	計画の目標 生産条件の不利な離島である本地域の実情にあった農業農村整備事業を進めることにより、「豊かな自然、文化、歴史の中で、県民誰もが誇りと自信を持てる、活力ある島根」(島根県総合発展計画)、「持続的に発展する島根の農林水産業・農山漁村の実現！」(新たな農林水産業・農山漁村活性化計画)、といった県上位計画の実現を図り、「活力ある島根の農業・農村づくり」(しまね農業農村整備指針)の実現を目指す。			
	定量的指標 ・地域農業の動向を踏まえた産地形成に必要な条件整備を行い、約197haの農地について農産物の合理化を図る。 ・橋梁補強・補修1箇所と法面対策2箇所及び点検診断3箇所を行い、農産物の輸送路の維持保全及び安全性を確保する。 ・農業用排水の水質の汚濁を防止し、農村地域の健全な水循環に資するとともに、農村の基礎的な生活環境条件を確保するための農業集落排水施設の整備を1地区について行う。			
対象事業	(対象事業) 農地整備事業(通作条件整備) 農業集落排水事業			
	全体事業費 (対象事業) 385,979千円			
評価	項目	評価細目	評価	説明欄
	目標の妥当性	1 関連する計画との整合性が図られているか	○	「島根総合発展計画」、「新たな農林水産業・農山漁村活性化計画」及び「しまね農業農村整備指針」に定める事業目標と整合が取れている。
		2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	地域の課題である「生産基盤の推進」「生活環境の改善」「防災対策の強化」「資源保全への取り組みの拡大」に適切に対応した目標となっている。
	整備計画の効果・効率性	1 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか	○	整備計画の目標として適当な定量的指標の設定となっている。
		2 事後評価ができる適切な指標となっているか	○	計画期間終了時に、個々の事業の実施内容と効果を精査することにより、事後評価できるものとなっている。
		3 構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか。	○	各事業の実施により発現する効果として、適切な指標となっている。
	整備計画の実現可能性	1 円滑な事業執行の環境が整っているか	○	・事業施行の技術的可能性、地区の設定、事業によって生ずる経済的効果、他の事業への影響等様々な側面から検討して、実施可能な計画となっている。 ・実施にあたっては、島根県、市町村、土地改良区がそれぞれ事業主体となり、関係機関の協力を得ながら円滑に事業を実施する体制が整っている。
2 地元の機運が醸成されているか		○	地元関係者・市町村からは同意または理解を得られている。	
評価結果	評価 I 事業を実施 評価 II 計画の見直し		[評価基準] [評価 I] は全項目に○印がついている [評価 II] は 1項目でも×印がついている	